

凡例 ① 所在地 ② 申請者 ③ 階数 ④ 住戸数 ⑤ タイプ



ソフト認定

戸塚ハイライズ



基本情報

- ① 戸塚区上倉田町
- ② 戸塚ハイライズ 防災協議会
- ③ 地上11階
- ④ 400戸(計4棟)
- ⑤ 既存・分譲

ソフト認定の概要

【防災組織】

管理組合と自治会の共同組織である「防災協議会」を設置。その下部組織として「自衛防災隊」を位置付け

震度5強以上の地震の発生時及び柏尾川の水位が避難判断水位に達した直後に、自衛防災隊が災害対策本部を設置

【防災マニュアル】

大地震を想定した本部用、水害を想定した本部用、家庭用の3つの行動マニュアルを作成
水害用マニュアルでは、柏尾川氾濫により受変電設備が浸水し、全棟停電することを想定

【防災訓練】

毎年春と秋に年2回防災訓練を実施
春は全戸訪問型の安否確認、秋は消火訓練等を実施（令和4年度）

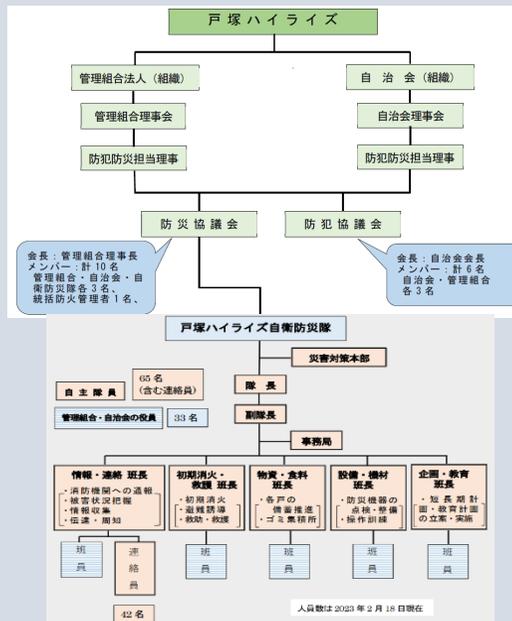
【飲料水等の備蓄】

最低3日分の食料、水、非常用トイレを各住戸で備蓄

【防災資機材の備蓄】

停電時の災害対策本部の照明用として非常用発電機・ボールライト・コードリール
情報収集用としてBS放送受信設備・トランシーバー等を備蓄

防災組織の体制図



| 警戒レベル | 横浜市 総合情報 | 柏尾川 水位情報 | マンション居住者の避難行動 | 自衛防災隊・管理組合・自治会の避難行動 |
|-------|----------|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|
| 5 | 緊急安全確保 | 氾濫発生情報 | ・身の安全確保 ・逃げ遅れた場合はマンション内で垂直避難 ・高齢者等(要援護者)の避難 | ・EVカーごの移動(停電前に要判断) ・自衛防災隊リーダーも避難することから活動は終了 |
| 4 | 避難指示 | 氾濫危険水位 | ・1~2階居住者の避難(避難先客室に連絡する) ・避難時にグリーンカードを玄関ドアに掲示する ・駐車場の車避難 ・下水からの逆流対策としてトイレ・風呂等に水のふた設置 | ・安否確認ボードによる避難状況の把握 ・マンション内に垂直避難するスペース確保 ・防災資機材の移動 |
| 3 | 高齢者等避難 | 避難判断水位 | ・柏尾川(元町橋)水位の監視開始 ・高齢者等(要援護者)の避難準備開始 ・1~2階居住者の避難準備開始 | ・災害対策本部を柏尾川の避難判断水位で立ち上げ ・高齢者等(要援護者)及び1~2階居住者へ避難呼びかけ |
| 2 | 大雨・洪水注意 | 氾濫注意水位 | ・ラッシュ降水平議の訪別除去 ・加圧、機械、空調への水平避難先の検討 ・避難する際の出し品、服装などを確認 ・下水の逆流対策用の水のうを作業 ・携帯電話の充電 | ・柏尾川水位のモニタリング開始 |
| 1 | 早急注意情報 | 水防団待機水位 | | |



▲水害を想定したタイムライン